

2023年(令和5年)12月28日(木) NO 189号

K-PURO NEWS

【事業所】

- ◆ 商号 株式会社 ケイプロ <https://k-puro.co.jp>
- ◆ 屋号 都市防犯プランニング社 mail info@k-puro.co.jp
- ◆ 本社 埼玉県蕨市中央1-7-1 シティタワー蕨 TEL 048-446-9445
- ◆ 千葉支店 千葉県千葉市中央区新町1-20 江澤ビル TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備 弊社のセキュリティプランに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用



防犯カメラ 周辺環境・建物構造・人的要因を分析し、用途に沿ったカメラ選別と設置



メンテナンス 消防設備点検・消防設備工事の消防関連事業および AED 幹旋の管理業務

【加盟団体】



RID2770 川口モーニングロータリークラブ <https://kawaguchi-morning.jp/>



NPO 法人 さいたま起業家協議会 <https://saitama-kk.org/>



公益社団法人 千葉東法人会 <https://www.chibahojin.jp/>



公益財団法人 モラロジー道徳教育財団 <https://www.moralogy.jp/>

【応援団体企業】



我が国一の歴史と実績 since 1957
公益財団法人 アイメイト協会



医療法人社団
南青山アイクリニック東京
Mitsumiyama Eye Clinic

今月の言葉

人や社会の役に立つ喜び



どのような職業でも、それぞれに喜びもあれば、苦勞もあるものです。

その責務を全うする上では、自分の努力によって乗り越えなければならない課題が数多くあることでしょう。

「仕事は生計を立てるための手段」という考え方もあります。

しかし、本来は自分自身も喜びを得て、働きがいや生きがいを実現していくことが望ましいのではないのでしょうか。

仕事を通じて人に喜んでいただくこと、そして社会の役に立つことをめざすところに、私たちの生きがい生まれるのです。

今月の良い話

子供たちに何を譲り渡すのか

私たち人間にとって死は決して避けられるものではありません。
誰もがこの生を終えて、次の世代にバトンタッチする時が必ずやってきます。
死は忌み嫌うものでも恐れるものでもなく、
自然の摂理そのものであると素直に受け入れられる人は、幸せだと思います。
ここでご紹介する詩人・河井醉茗カヅイメイ（一八七四～一九六五）の『ゆずり葉』は、
そのことを私たちに教えてくれる作品です。

.....

ゆずり葉

子供たちよ。これは譲り葉の木です。
この譲り葉は新しい葉が出来ると入れ代わってふるい葉が落ちてしまうのです。
こんなに厚い葉　こんなに大きい葉でも新しい葉が出来ると無造作に落ちる
新しい葉にいのちを譲って――。
子供たちよ。お前たちは何を欲しがらないでも凡てのものがお前たちに譲られるのです。
太陽の廻るかぎり譲られるものは絶えません。
輝ける大都会もそっくりお前たちが譲り受けるのです。
読みきれないほどの書物もみんなお前たちの手に受け取るのです。
幸福なる子供たちよ　お前たちの手はまだ小さいけれど――。
世のお父さん、お母さんたちは何一つ持ってゆかない。
みんなお前たちに譲ってゆくためにいのちあるもの、
よいもの、美しいものを一生懸命に造っています。
今、お前たちは気が付かないけれどひとりでのいのちは延びる
鳥のようにうたい、花のように笑っている間に気が付いてきます。
そしたら子供たちよ　もう一度、譲り葉の木の下に立って譲り葉を見る時が来るでしょう。



.....

親が幼い子供たちに語りかける、詩のひと言ひと言が心に沁みるのではないのでしょうか。
子供たちに素晴らしい宝を譲り渡し、その宝を生かしながらよき人生を送り、
世の人々をも幸せにしてほしいとの親の切なる思いが、そこには込められています。
そして、これは親から子へという命のバトンタッチに限ったことではありません。
上司から部下へ、先輩から後輩へ、先生から生徒へと様々な読み方ができます。

.....

一方、生きている私たちもまた、前の世代から大切なものを譲り渡されて、
このかけがえのない人生を歩いていることを思うと、受け取った宝をどのように活かすの
かという別の視点も生まれます。
それぞれの立場で、一生を通して何を大事にし、何を譲っていくのか。
自分が譲り受けたものをいかに育てていくのか。この詩を何度も繰り返し音読する中で、
ご自身の心と向き合ってみてはいかがでしょうか。

////////////////////////////////////

鈴木 秀子（文学博士）

記事提供 致知出版社

今月の良い話

勝つために何が必要か

私は何をするにも、それが正しい道かどうかということを常に頭において行動してきたわけ
です。道に則って進むということが私の生き方であり、やり方です。

巨人軍の監督だった時には常に勝ち続けることが宿命づけられていたから、勝ちに徹する
ことが私にとっては道に則って進むことでした。

だから、何が勝利への近道かを考え、勝つためにはこの方法しかないと思えば、誰がなん
といおうと、それを実行してきましたね。

「石橋を叩いても渡らない」とか「オーソックスすぎて面白くない」とかいわれましたが、
それは外の人間が勝手に決めつけとっただけですよ。

私はいつもチームの戦力を計算しながら、この戦法の方が勝つ確率は高いだろうと考えて
作戦を立てていったわけです。



私はね、野球という勝負において“勝ち”に徹したわけですよ。
だから個人よりもチームの勝利を優先させたことは事実で
すが、当時のマスコミのいう「管理」はかなり批判的な意味
でした。

しかし、私は自分の考えを選手に押しつけたこともないし、
個性を殺したつもりもないですよ。

私が考える「管理」とは、一人一人の個性を十二分に発揮さ
せた上で、集団の目標を達成することなんだ。

一人一人の個性が発揮されなければ、集団としての目標を達
成することはできない。

そのためには、勝つことを自分の手柄にしようとか、自分の名声を上げようとするのが
先にたつと駄目なんです。

ですから、自分を捨て切っていないと、本当の意味の管理などはできんのですよ。

そういう意味で勝つために自らを賭けた足跡は、まさに“忍の一生”といえるのではないか。
もう一面からみると、“やる気”の一生といってもいい。

一つ一つのことにのほほんとやっただけでは何もできない。

死ぬか生きるかという苦労を重ねて、きざに言えば死線を何回も超えて行って初めて遅し
い人間ができるんですよ。

その死線を超えるときに、忍というか、そういう強さが必要なんじゃないですか。

なにがなんでもやってのける、途中であきらめないという不退転の決意、そういうものが
大事でしょう。

私は育ちが貧乏ただただにね、やってのけないことにはしようがなかったわけですから、
ハングリー精神というのは、子供のころからありました。

それが支えにもなったわけです。

自分はもう駄目だと思って逃げてしまったりあつさりしたら、それで墮落してしまうわ
けです。大事なことは、それをどう受け止めるかという受け取り方、そしてそれをどう
実行していくかということなんですからね。

逃げちゃ終わりですよ。

////////////////////////////////////

故 川上 哲治 (元巨人軍監督)

記事提供 致知出版社

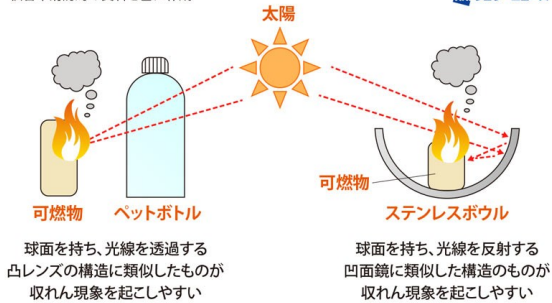
事件ファイル NO189

収れん火災

ペットボトルとステンレスボウルによる
収れん火災のイメージ

仙台市消防局の資料を基に作成

ウェザーニューズ



「収れん火災」とは聞きなれない言葉かもしれませんが、「収れん」が持つ意味の一つに、「一つにまとめる」とあります。収れん火災とは、太陽の光がレンズや鏡の反射、屈折によって一つに集まって、そこに燃えやすい物があると火災になるものです。

小学校の実験で行った、虫メガネで黒い紙に太陽の光を集めて紙を燃やす。これが収れん火災と同じ現象です。

太陽の光が集まる物は、水の入ったペット

ボトル、金魚鉢、凹面鏡、透明な球体（ガラス玉や水晶玉など）、透明な吸盤など、思いもよらないいろいろな物で収れん火災が起こります。

太陽の光が原因のため、夏場に発生しやすいと考えるかもしれませんが、太陽の高さが低くなり、部屋の奥まで光が差し込む冬場に比較的多く発生しています。

予防策としては、

- (1) 太陽の光が入ってくる範囲には、収れん火災が起こる可能性のある物を置かない。
- (2) 出かける際はカーテンを必ず閉める。
- (3) 屋外の動物除け（水の入ったペットボトルなど）や車内にも注意が必要。

プロ太の小話集

NO189

「初テスト」

うちの息子も小学校1年生。

さっそく、学校で「初テスト」を受けてきたらしい。

先生「おさかなは1ぴき2ひき、とりは1わ2わと数えます。ではウマは？」

息子「は〜い！1ちゃく2ちゃくです！」



//////////
今月の表紙の花 : ツワブキ「謙譲」

裏金疑惑で官房長官を辞任した松野博一衆議院議員は、地元が同じで彼が政治家を目指していた時からの知り合いです。ある宴席で松野さんに「なぜ政治家になりたいのか？」と問いかけたことがあります。その時彼は「きちんとした法案をたくさん上程し、世の中の役に立ちたい」と熱く語ってくれました。あれから29年・・・。

長いものに巻かれたのかもしれませんが、松下政経塾にいた時の初心を思い出し、カムバックして欲しいと願っています。

本年も皆さまには大変お世話になりました。どうか良いお年をお迎え下さいませ。

注：プロ太とは、写真のK-PURO 番犬です (体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)